



共済と保険

四十一年十一月号目次

◇ケラビア・(芦)(の)(湖)

◇ケラフ・全日空機事故の生保契約状況
 卷頭言・加入者保護と行政一元化

(一八)

点 漁船保険は損害補償制度なのだ……浅野長光
 又 注目の保険行政批判……森松邦人
 交 紅衛兵を「利用」した話……印南博之

(一〇)

保険審議会の

共済保険問題審議に対する意見(2)

行政一元化は時代に逆行する……(竹本哲一 労済連専務理事)
 近視眼的な大蔵行政……(三木一全水共専務理事)

(一六)

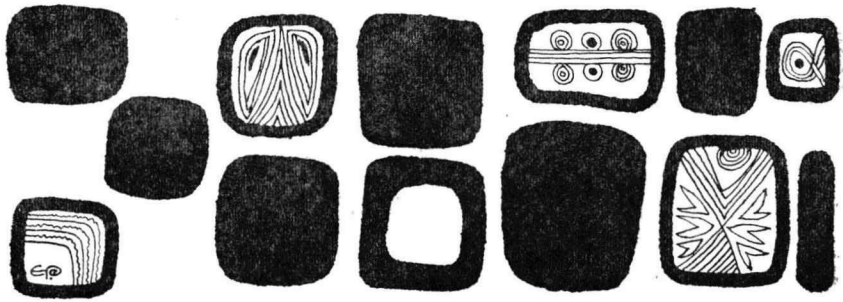
現代社会保障論(8)

社会保障と保険事業

ラドクリフ委員会報告書におけるイギリス

岡部 寛之(二四)

の保険会社——特に生保会社の機能と動向について……星野 良樹(三四)



特集

生保業界の新種保険を見る……………(四四)

交通事故被害者の遺族の損害賠償請求権

と生命保険金(3)……………華陽 郷一(五二)

〈入門講座〉

生命保険の基礎知識^⑯……………土屋 清三(五八)

共済・農林省が税制改正で要望事項まとめる・靱乾燥機の火災共済特別推進運動展開・漁災制度改善運動呼応普及月間を実施・漁済連の上期実績七三億一、六五八万・日火連長期共済の検討にのり出す・第二回農協共済情報員会議開催・都道府県参事会議開催・全国共友会設立・北海道共済連で自動車事故査定研修会開く・栃木県共連が農協共済強調月間運動を展開

望
生保・生保協会が財産利用方法書の改訂を要望・生保総資産二兆三、七一
九億に達す・第三回生命保険大会ひらく・調整年金第一グループ十
一月中に認可……………(六九)

展

損保・住総改訂約款十一月中に完成・四一年度上半期の新種保険好調・損保協会が政府に「保険料の差別待遇排除」を要望・全日空機体にて四億九千万付保・自賠責保険の九月末四三九億七千万円・対人賠償編集小委の検討終る

ブック・レビュー 「人生の本」生活の知恵」田代正路著「支社長物語」……………(七六)

保険統計 (生保資産、損保資産、簡保年金資金、生保)……………(七八)

編集後記……………(八〇)

目次カット・全共連 印 南 博 之